

平成25年度 推薦入試試験問題(文学科 英語英文学専攻) 解答例

【解答のポイント】

- ・ 本文の内容が的確に要約されているか。
- ・ 要約をふまえて自分の考えが的確に述べられているか。賛成か反対かを明確にしていること。自らの経験について触れられていること。
- ・ 文章が論理的に構成されているか。
- ・ 高校で学習する程度の語彙力, および日本語表現能力があるか。
- ・ 字数制限を満たしているか。

【解答例 1】

イラストや映像は実用的な知識を得る際にはとても役立つものだが、文学作品ではいささか事情が異なってくる。もちろん、読む前にそこに描かれている風景や舞台についてあらかじめ知っていれば、読書の楽しみは増すだろう。だが、そうした情報を持たない場合、現実的な映像をあとから見ることは、逆に心の中で思い描いたイメージをよかれあしかれ壊してしまうことになる。そうすると、最初に想像したイメージは二度と戻っては来ない。想像力が描いた情景は平凡な日常を越える。はっきりした情景を思い浮かべられるのは、それだけ作家の力量が優れているということだ。ディズニー映画に影響された小学生は、原作童話を読んで自らの想像力を膨らませる楽しみを奪われて気の毒である。

このように筆者は述べているが、私はこの意見に賛成である。想像力は、家にいながらにして一冊の本から未知の世界へと私たちを誘ってくれる。ところが、映像化されたものを先に見てしまうと、原作を読んだときに映像と同じ風景や人物像しか思い浮かばなくなるのはよくあることだ。たとえば、私は『ハリー・ポッター』シリーズの映画を先に観てしまったので、原作を読んでもハリーが出て来る度にダニエル・ラドクリフの顔しか思い浮かばなくなってしまった。先入観に囚われることで、もはや自分なりの想像や解釈ができなくなり、イメージが均一化されてしまうのだ。子供の頃大好きだった『赤毛のアン』のテレビシリーズを観て筆者が後悔した例や、自らの中にある平安時代の日本像を壊さないために、日本を決して訪れようとしなかったアーサー・ウェイリーの気

持ちはよくわかる。私も大好きな小説の映像化作品を観る際には、観るかどうかをまずは慎重に検討するようにしている。私は最初に心の中に抱いた印象やイメージを大切にしたい。それこそが個性を生み出す原動力になるのではないだろうか。

(780字)

【解答例2】

イラストや映像は実用的な知識を得る際にはとても役立つものだが、文学作品ではいささか事情が異なってくる。もちろん、読む前にそこに描かれている風景や舞台についてあらかじめ知っていれば、読書の楽しみは増すだろう。だが、そうした情報を持たない場合、現実的な映像をあとから見ることは、逆に心の中で思い描いたイメージをよかれあしかれ壊してしまうことになる。そうすると、最初に想像したイメージは二度と戻っては来ない。想像力が描いた情景は平凡な日常を越える。はっきりした情景を思い浮かべられるのは、それだけ作家の力量が優れているということだ。ディズニー映画に影響された小学生は、原作童話を読んで自らの想像力を膨らませる楽しみを奪われて気の毒である。

このように筆者は述べているが、私はこの意見に反対である。たしかに好きな小説の映像化作品を見たときに、自分のイメージとかけ離れていてがっかりすることはある。しかし、映像が原作を読むだけではわからないことを知る手助けをしてくれることの方が多い。知らない物事は想像だけではとても理解できない。中には『ロード・オブ・ザ・リング』のように、多くの原作ファンが絶賛する映画が作られることもある。そうした場合には、作品世界を見事に再現したといえるだろう。

本を読みながら自由に想像するのは楽しいことだ。しかし、原作者が意図したのとはまったく異なる風景や人物像を妄想しているだけだとしたらどうだろうか。本文にある『源氏物語』や『枕草子』の英訳者アーサー・ウェイリーが、決して日本を訪れようとしなかったのは極端な例かもしれないが、たとえ時代は変わっても、実際に日本を訪れて平安文化が栄えた京都を見なくてはわからないこともあるはずだ。自分のイメージを大切にすあまり現実を見ようとしするのは危険である。

(759字)